

## N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO: PO Box 6414 Lincoln NE 68506 USA www.nsdapao.org

#1059 02.07.2023 (134)

# レキシコン - Michael Kühnen 108 - RICH

帝国とは、アーリア人種の最高形態の国家組織である(「国家」と「アーリア人」も参照)。一般に帝国とは、生活空間を組織する自給自足の大規模秩序を意味する(autarkyを参照)。しかし、アーリア人にとって、帝国はそれ自体も価値を体現しており、彼の歴史的・政治的伝統の一部である。

王国は、人間によって秩序づけられた宇宙、自然と文化の調和という秩序 の原理を体現し、それによって救いに奉仕する。

この秩序原理は、ゲルマン民族がローマから受け継いだ帝国の思想の中に 完璧に表現されている。帝国という考え方は、本来、国家社会主義者の世界観の一部である。現在、その政治的な権力者はヨーロッパの国家社会主義政党である(国家社会主義ドイツ労働者党の項を参照)。今日でも理解 されているように、帝国の理念は、人々の性格とローマ帝国の生き方の中で生まれたものである。ローマ帝国は、古代においてすでにアーリア人の生活空間の大部分を包含していたので、ヨーロッパの偉大な帝国の伝統の出発点である。ローマ帝国の崩壊は、その退廃とキリスト教による封印が引き金となり、東方帝国と西方帝国に分裂することになった。その結果、新しい民族が次々と帝国の思想を取り入れることになった。

ギリシャ人(ビザンティン人)は東方帝国の最初の民族的担い手であり、



そこからアラブ人やトルコ人が帝国を築いた際に影響を受けている。ビザンティンの政治的後継者はロシア人であり、今日まで東方帝国の主要な人々である(スラブ人、ソビエト連邦の項も参照のこと)。

ローマが最終的に滅亡した後、ゲルマン民族、とりわけその中核をなすゲルマン人は、西方帝国の民族的担い手としてヨーロッパの超国家的秩序を担い、こうして「ドイツ民族の神聖ローマ帝国」、第一帝国を建国したのである。

盟約者団の分裂、ヨーロッパ諸国とその国民国家の形成と強化は、旧帝国を粉砕し、1905年に憲法の下で消滅し、その残骸は1918年までオーストリア帝国で生き続け、ますます時代錯誤の度を強めていった。ドイツ人は旧帝国崩壊まで自国の国民国家の形成を控えていたが、ヨーロッパ帝国主義の時代は、強力な国民国家のみが帝国を創設し維持するための前提条件を作り出すということを認識させるものであった。こうして1871年、ドイツ人は第二帝国という強力な国民国家を作り上げた。しかし、ドイツの国民国家は、ヨーロッパにとって強すぎると同時に弱すぎる存在であることが明らかになった。近隣諸国や世界政治の競争相手がその存在を受け入れるには強すぎるが、彼らの意思に反して存在する権利を主張するには弱すぎるのである。それが、必然的に20世紀の2つの世界大戦につながったのである。

しかし、オーストリアやトルコの君主国と同盟を結び、ロシアに勝利することによって、ほとんど無意識のうちに、ドイツ国民国家のヴォルキッシュ・パワーに支えられた新しい大帝国を建設することに成功したのである。それに対して、第三帝国の指導者は、同じ試みを意識的かつ明確に行ったのである。国家社会主義の革命的な力学は、この試みを支持し、ドイツのすべてのヴェルキッシュ勢力を完全に動員した。しかし、この時も帝国建国は、ドイツの権力的政治的敵対者の帝国主義によって失敗した。また、第三帝国を崩壊させ、ドイツを分割し、服従させた。

新戦線の共同体は、ドイツ民族の種の保存と発展に不可欠な生活空間、独立と主権に対する帝国思想の要求をあきらめずに、第二帝国と第三帝国の破壊の印象のもとに一貫した結論を導き出し、もはやドイツ民族国家の形成と拡大によって帝国の新しい基盤を実現するのではなく、アーリア民族

の生活空間全体における世界規模の国家社会主義革命によって実現しよう と考えている、自覚的に反帝国主義の運動として自己を見なしているの だ。この目的のために、国家社会主義政党は世界運動を形成しているので す。

この革命の果てに、来るべき第四帝国は、超国家的大秩序として東西ヨーロッパ全域、アラビア、トルコ、ペルシャを包含する(「パールシーと東インド・ヨーロッパ主義」も参照のこと)。この帝国では、関係するすべての民族は、人種隔離と人種衛生を基本として、その種と性質に応じて自由な国家として発展することができる(「自由」の項も参照)。この第四帝国は、他の大陸の覚醒したアーリア人種と団結してアーリア人の国家共同体を形成し、こうして新秩序を完成させるのである。

## 109 - 革命

例えば、狩猟採集生活から定住農耕生活への移行を伴う新石器時代の革命や、近代の技術革命は、いずれも生活を一変させ、あらゆる価値観を一変させるものであった。国家社会主義は、革命を狭義の権力政治のレベルの激変ととらえ、それがあらゆるレベルのあらゆる価値の再評価をもたらすとし、この概念を革命によって克服すべき退廃の概念と密接に結びつけている。

したがって、国家社会主義は、既知のヨーロッパの歴史の中で、3つの革命を数えることになる。

古代世界の退廃が進む中、キリスト教革命は、全能の神とその戒律による道徳という概念を、すべての思考、感情、行動の中心に据え、その上に千年以上続く秩序を築き上げたのである。しかし、キリスト教は、ヨーロッパにおけるアーリア人の退廃という基本的な問題(アーリア人参照)、すなわち人間の本性と文化の間の疎外感に対して、ニーチェがすべての明瞭さと鋭さをもって正しく認識したような解決をもたらすことができなかった。それどころか、キリスト教の教条主義はヨーロッパの精神生活を抑圧し、自然と文化の融和を妨げ、抑圧したアーリア人の生きる意志をますます抑圧することになった。

これに対して、最終的に勝利した啓蒙主義の革命は、個人、その自由、自

己決定、自己実現をすべての思考、感情、行動の中心に置いたが、これを 基礎として安定した秩序を作り、退廃を克服するという課題では失敗し た。- むしろ啓蒙革命の個人主義によって、西欧型の民主主義の国家形態 と自由資本主義の生活秩序は、アーリア人種の退廃が急性期に入り、人種 的生存を直接脅かす秩序の歪曲と嘲弄として出現したのである。

これに対して、**国家社会主義の革命は、**現在、1918/29 JdFから戦っており、1933/44 JdFに初めて権力政治の面で自己主張したが、当初は1945/56 JdFに反動によって弾圧され、鎮圧された。しかし、国家社会主義革命は、権力政治的な抑圧の水面下で継続し、共同体をすべての思考、感情、行動の中心に置くことによって、人間共存のあらゆる価値を変革し、アーリア人種の世界運動と意志の担い手となった(「意志」も参照)。国家社会主義は、自然と文化を最終的に調和させ、退廃を克服する新秩序を目指すものである。

すべての権力政治的革命は、戦い、勝利し、新秩序を形成するために、権力政治的意志の担い手-革命的組織-を必要とします。この仕事は、キリスト教ではカトリック教会が、啓蒙主義ではフリーメイソンという秘密結社が引き受けた。国家社会主義革命の担い手は国家社会主義党(国家社会主義ドイツ労働者党を参照)である。

国家社会主義とその新秩序は、フォルクスゲマインシャフトの思想の上に成り立っている。これは、国民の自発的な同意と忠誠心があればこそ考えられることです。この結果、国家社会主義党は、西側のタイプの機能する民主主義の条件のもとで、合法的に革命を遂行することができる、すなわち、議会制の政党として選挙に参加し、適用される憲法の枠内で、政権を獲得する可能性と義務が生じるのである。それが可能な場合、国家社会主義党は、この法的革命の道を歩み、国家改革を経て、国家社会主義人民国家(国家を参照)、最終的に新秩序に至る。支配秩序が合法的な革命を許さない場合、党は地下で戦い、必要であれば武装抵抗を組織する(「人狼」を参照)。

アーリア人種の圧倒的な退廃を考えれば、国家社会主義革命の勝利は、今日、破滅と人種的死への唯一の代替手段である。このことは、ドイツで新戦線思想共同体が主導している国家社会主義世界運動のNSDAP禁止期間



中の闘争の絶大な責任と重要性を正当化するものである。

#### **110 - RITUS**

儀式は伝統の外形であり、したがって、あらゆる伝統的秩序の重要な構成要素であり、その中で、遺伝の原理とともに、生活の基礎となるものである。退廃は儀式を破壊し、その結果、文化のバックボーンを奪ってしまう。これは、アーリア人種の退廃が進むヨーロッパでも起こったことである(「アーリア人」を参照)。したがって、儀式の回復、あるいはその再創造は、種と自然に則した新秩序を求める闘いにおける国家社会主義の目標の一つであり、意識的な生政治的基盤の上に伝統文化を再確立するものである(生物学的ヒューマニズムも参照されたい)。

しかし、伝統と儀式は、文化的理解という理由から国家社会主義の重要な基礎であるだけでなく、思想的にも、また、少なくとも組織的にも必要なものである。国家社会主義は、教条主義を知らない。そのメッセージ、内容、意味は、あらゆる多様性とその自然法則を持つ生命である(分化を参照)。このように、国家社会主義は、その信奉者の数や性質のように多様であるが、それが組織的に表現する生きる意志を持つ人々や人種の生物学的性質のように均一なものなのである。それは、「自由」という思想です。

とはいえ、競合する多数のサークル、宗派、傾向に崩壊することなく、民族と人種の生存のための闘争の道具を形成するために、国家社会主義は党を必要とするのである。歴史的な力を持つ伝統の党と、揺るぎない儀礼の伝統の党。こうして、党の結束と影響力は、最終的に儀式によって守られ、歴史に伝えられていくのである。ドイツでは、これが含まれます。

国家社会主義ドイツ労働者党、その党綱領、その指導者アドルフ・ ヒトラーへの公然のコミットメントである。

救いの敬語(ハイル参照)。 の茶色いシャツを着ていた。

鉤十字の旗

これらすべて、そしてさらに多くのことが、「外形的なもの」ではなく、ドイツ国家社会主義の伝統と儀礼の一部であり、歴史的・政治的力としての国家社会主義そのものを消し去ることなしに、取り除くことはできないのである。儀式は党の存続を保証するものであり、形として成熟したその集合意思である。

### 卍の下で楽しむ

#### ゲルハルト・ラウクによる逸話集

出版社NSDAP/AO, PO Box 6414, Lincoln, NE 68506 USA nsdapao.info & nsdapao.org
Copyright 1993 NSDAP/AO

米国で印刷されたものです。

57.

シカゴの市会議員選挙で、私たちの請願書(投票用紙に載せるためのもの)は、与党の民主党から異議を唱えられました。

私たちは私服でやってきて、私たちの正当な請願に対する告発と証拠を聞いたのです。民主党は、私たちの署名は偽造だと主張しました。自尊心のあるシカゴ市民は、ナチスの請願書に署名する勇気はないだろう!」と。

私は近くの工場で夜勤をしていたので、日中は運動のためのキャンペーンを行い、生活費を支払うことができました。このような状況でしたので、法廷に立つことができたのです。

民主党の幹部や下っ端が次々と証言台に上がり、私たちの候補が署名を募るのを一度も見たことがないと言い出した。彼らは皆、私を見たが候補者を見たことはないと主張し、彼は(間違って)各党の請願書に署名していたので、彼らは彼が個人的に法的な署名を勧誘していなかったことを証明するだけでよかったのだ!そうすれば、私たちの何ヶ月にもわたる骨の折れる仕事はすべて無効となる。本当にひどい話だ。弁護士は、次の選挙のことを考えた方がいいと言った。

その時、偶然にも民主党の手先の一人に見覚えがあったのです。彼は地元の分署長で、偶然の出会いがありました。

私は弁護士に、私たちのケースを証明できるので、私を証人台に立たせるように言いました。弁護士は、不信感を抱きながらも、そうしまし

た。私は証言台に立ちました。

私は法廷で、私が何週間も毎日働いて、わが党の候補者とともに正当な 署名を集めてきたことを説明しました。私が自分の供述を証明するという 部分になると、人々は目を覚まし始め、敵の証人たちは緊張し始めまし た、彼らは皆、私を指差していたからです。

私は、ある寒い日に、敵の管区長とばったり会い、善良なアメリカ人として署名を交換したことを説明しました。彼は私たちの請願書に署名し、私たちの候補者と私の候補者は彼の請願書に署名したのです。そして私は、その署長の署名が入った正確な請願書のコピーを提出しました。そして、私たち2人が署名をした日付も伝えることができました。

彼らの請願書のチェックが行われる前に、民主党は挑戦を取り下げ、私 たちは投票に参加することになりました。

面白いのは、候補者がすべての請願書を回さなかったので、彼らはほとんど正しかったということです。彼は、多くの隊員が本部に持ち帰った請願書に誤って署名してしまい、技術的に無効になってしまったのです。







#### NSDAP/AOは世界最大です

#### 国家社会主義プロパガンダサプライヤー!

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物 多くの言語の何百冊もの本 多くの言語の何百ものウェブサイト





www.third-reich-books.com